

## 【学生によるESD支援活動】

### ストップいじめなら子どもサミット 実施報告書

国語教育専修 学部2回生 坂元 亜衣

#### 1. 目的

- ①奈良市の中学校の子どもたちによる、「いじめ」を許さない学校づくりに向けた取り組みについて地域の大人を交えて意見交流を行う。
- ②子どもたち自らが「いじめ」の問題を主体的に考え、未然防止の取り組みについて話し合う。
- ③子どもたちと地域や保護者が協働し、「いじめ」を許さない学校づくりを目指す。

#### 2. 日時

平成31年2月2日(土) 13:00~15:30

#### 3. 会場

奈良市教育センター(はぐくみセンター)

#### 4. 参加学生

谷内裕也(大学院生)

坂元亜衣、下原舞、仲村幸奈、足立繁郁、狗飼菜々子、後藤旭、西條秀哉、下垣内渉平(学部生)

#### 5. 参加生徒

春日(5) 若草(6) 都南(7) 登美ヶ丘(6) 登美ヶ丘北(3) 田原(3) 二名(3)  
京西(7) 富雄南(4) 平城(7) 平城東(7) 富雄第三(7) 三笠(4) 伏見  
(4) 飛鳥(1) 富雄(3) 平城西(5) 興東館柳生(2) 都跡(2) 月ヶ瀬(2)  
都祁(4)

※( )内は参加生徒数。全21校 計92名参加

※各校引率教職員等 多数参加

#### 6. 活動概要

##### (1)第1回事前研修

第1回事前研修は12月26日に奈良市役所で行われた。本活動ではユネスコクラブの学生3名が支援に携わり、主にアイスブレイクを担当した。今回が1回目であり、奈良市の中学校の生徒同士は初対面であったためとても緊張した雰囲気が漂っていた。その中でアイスブレイクを行うことで少しずつ緊張がほぐれたように感じられ、生徒の顔にも笑顔が見られた。また、その後の話し合いではそれぞれの話し合いの役割を決め、アンケートなどのデータをもとになぜいじめがおこるのかについて議論を行った。私たち大学生も中学生と一緒にいじめについて考えた。私たちは、参加学校ごとに人数のばらつきがあったので、特に人数が少ない学校への支援を中心に行った。

##### (2)第2回事前研修

第2回事前研修は1月19日に奈良市役所正庁にて行われた。本活動ではユネスコクラブの学生5名が支援に携わり、前回同様、アイスブレイクを行った。生徒の緊張を和らげることを目的としていたが、今回は前回と異なり同じ学校の生徒が同じグループであったため和やかな雰囲気の中で行うことができた。会場が前回とは違い広かったため、全体が動くことのできるアイスブレイクを取り入れた。楽し



生徒による司会進行の様子

んで参加していた生徒が多かったように感じる。また、アイスブレイク後は学校ごとに自分たちの学校のいじめへの取り組みの現状について話し合ったり、いじめをなくしていくために自分たちにできることを考えポスターセッションを行ったりした。私たち大学生は学校ごとの進み具合を確認したり、声掛けを行ったりした。また、人数が少ない学校へは学生がついて話し合いやポスター作成のサポートを行った。



アイスブレイクの様子

### (3) 第3回事前研修

第3回事前研修は2月2日に奈良市教育センターにて行われ、ユネスコクラブの学生5名が支援に携わった。本活動では今回からの参加であり、まだポスター作成などが完成していない中学校のサポートを行った。すでにポスターが完成し発表準備を行っている学校も多くある中で、短時間で同じくらいの完成度に持っていかなければならないことは難しいと感じた。また、午後からは子どもサミット本番があるため時間に追われながらの活動であった。その中でも生徒たちはしっかりと行動しており、役割分担を行っていた。それぞれがそれぞれの役割をきちんと全うしており、時間内にほぼ完成させることができた。最終の仕上げを、昼の休憩時間を用いてまで行っている生徒も見られ熱心さを感じた。

### (4) 本番

本番では参加学校数が多いため子どもサミット本番の開会式と閉会式のみ一つの部屋に集まって行われ、活動は二つの部屋に分かれて行った。そのため、ユネスコクラブの学生も二手に分かれアイスブレイクを行った。子どもサミット本番では生徒だけでなく、保護者や地域の方々にも参加していただいたため、とても人数が多かった。生徒たちも自分の班に大人が入っているという、いつもとは異なる状況に戸惑っている様子も窺えた。今回のアイスブレイクは、コミュニケーションを中心としたものであったため大人から子どもまで楽しめるものであり、少しは緊張をほぐすことができたのではないかと感じている。その後は、学校ごとに保護者や地域の方々を交えて話し合いを行った。今回の話し合いで生徒がまだ疑問に思っていることや悩んでいることに対して保護者や地域の方々からアドバイスや考えをもらおうという形式であった。とても真剣に話し合いを行っていて、どのグループも話しが絶えなかった。それから学校ごとに作成したポスターを用いてポスターセッションを行った。今までも何回か事前研修でポスターセッションを行ってきたが、それよりも高いレベルで発表を行っていて感心させられるものばかりであった。



本番での話し合いの様子

じた。

今回の子どもサミットでは、奈良市の全ての中学校が参加を行いいじめについて考えたが、これはとても意義のあることだと感じた。また、いじめを身近なものとして捉え、自分の学校にどう活かすかを考えることで学校全体への働きかけにも繋がる良い活動であると感じた。